の左右に切り込みを入れたもの。

049型式　長方形の材の一端を羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。

051型式　長方形の材の一端を尖らせたもの。

059型式　長方形の材の一端を尖らせているが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。

061型式　用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

065型式　用途未詳の木製品に墨書のあるもの。

081型式　折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

091型式　削屑。

なお、中世・近世の木簡については、以上の型式番号に適合しないものが多いので、註記を省略する場合がある。

一、この凡例は木簡出土事例報告に関するものであり、論文などにおいては、必ずしもこれを用いるものではない。

一、英文目次は天理大学のW・エドワーズ氏にお願いした。

木簡学会役員（二〇〇七・二〇〇八年度）

会長　栄原永遠男

副会長　舘野　和己　田辺　征夫

委員　鐘江　宏之　櫛木　謙周　坂上　康俊
鷺森　浩幸　佐竹　昭　佐藤　信
鈴木　景二　角谷　常子　田熊　清彦
鶴見　泰寿　寺崎　保広　土橋　誠
馬場　基　古尾谷知浩　山中　章
山本　崇　吉江　崇　吉川　聡
吉川　真司　渡辺　晃宏

監事　今泉　隆雄　西山　良平

評議員　石上　英一　岡村　道雄　勝山　清次
狩野　久　小谷　博泰　小林　昌二
佐藤　宗諄　清水　みき　東野　治之
平川　南　山中　敏史　李　成市
和田　萃